

## 美のスターたち ―光琳・若沖・北斎・汝窯など名品勢ぞろい―

岡田美術館（神奈川県・箱根町・小涌谷） 2018. 09. 30～2019. 03. 30

「岡田美術館」は、開館以来日本・中国・韓国の壮麗な美の歴史を実感し楽しめる美術館として運営され、収蔵品中心にこれまで14本の展覧会が開催され、今回開館5周年記念して集大成となる“ベストコレクション”の展覧会である。



特筆すべきは、各展覧会において主役を飾ったスターたちが一堂に会するもので、特に、下記の著名な「2作品」が同時に公開される企画のため大きな話題を呼んでいる。

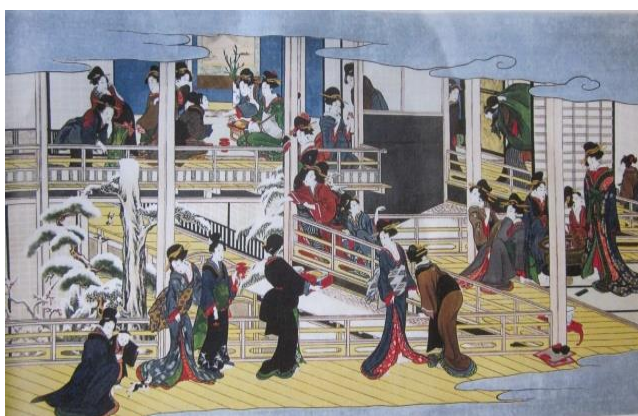
喜多川歌麿《深川の雪》 1802～06年頃

長らく所在不明であった作品が、近年奇跡的に再発見され話題となった最大級の肉筆浮世絵大作の作品の披露。

伊藤若沖《孔雀鳳凰図》 1755年頃

奇想の画家として人気の高い「若沖」の「花鳥画」で、80年振りに発見された作品が公開されて注目されている。

他に、尾形光琳《雪松群禽図屏風》などの名画が展示されている。



歌麿 《深川の雪》



若沖 《孔雀鳳凰図》



光琳 《雪松群禽図屏風》

光琳 《雪松群禽図屏風》（せつしょうぐんきんずびょうぶ） 18世紀初頭

美術館のコレクションの礎となった作品。

展示作品はおよそ「450点」もあり、東洋陶磁では、“色、フォルム、質感にうつとり”する景德鎮窯（けいとくちんよう）の作品《青磁柑子口瓶（せいじこうじぐちへい）》が見逃せない展示作品である。